

市 財 政

大切な税金は
ため込まず市民の
福祉・生活向上に

大久保 忠
(日本共産党)

問 市の財政調整基金(貯金)は約18億5千万円となり増え続けている。この基金は財政に余裕がある時に積み立てし、不足した時に取り崩して使うということの間違いないか。

答 そのとおりである。

問 財政に余裕があることが明らかとなった。大切な税金はため込まず、子ども医療費、学校給食費の無料化拡大や住宅リフォーム制度復活など市民の福祉、生活向上に使うべきではないか。

答 将来世代に財政を健全な状態で引き継いでいかなければならず一定規模の残高は必要と認識している。

問 財政的に余裕があるにもかかわらずこの間介護保険や学童保育料の値上げなど市民サービスの削減が続いている。逆立ちした市政となっているか。

答 財政調整基金については

財政状況また、経済状況を見ながら積み立てている。

● 防犯灯設置費用、電気料は無料にすべき

問 自治会に関係なく市民が危険な場所に防犯灯の設置を求められるようにすべきである。そのために設置費用、電気料は無料とすべきと考えるが市の考えは。

答 地域の実情を熟知し、目の行き届く地元自治会に費用負担を含めた維持管理を依頼することが最善と考えている。

安 心 ・ 安 全

首都圏氾濫区域
堤防強化対策

野口 啓造
(黎明21)

問 須加、下中条、北河原、酒巻地区にかかわる移転等に伴うさまざまな問題について、各地区の発展のために何か施策等を考えているのか。

答 生活道路の安全性確保の観点から足利鴻巣線の整備促進同盟会を通じ、県へ歩行者空間を充実するよう要望を行う。また市中心部へのアクセ

つかり取り組んでいく。

問 この移転が過疎化を加速させないか。

答 地区外、または市外への転居が考えられ、地域コミュニティの崩壊が懸念される。しかし、移転後も地区内や市内に住み続けられるよう積極的に努めていく。また、定住促進の奨励金や市営住宅のあっせんも考えている。

問 移転する市民に対しての支援は、赤道や排水路についてはどうなっているか。

答 赤道の払い下げは、平成27年4月から行田市廃道敷等の不用残地処分要領に基づき実施している。排水路は、見沼土地改良区と協議、調整をしていきたい。

〔その他の主な質問〕

○地域防災拠点・川の駅の設置、サイクリングセンターの再配置、須加大橋右折帯の設置要望の進行状況について

駅 前 駐 輪 場

JR行田駅前駐輪場の
有料化の問題点

斉藤 博美
(日本共産党)

問 有料化や委託の計画をほとんどの市民や議員も知らない。市民に負担を強いる計画は知らせるのが当たり前である。なぜ知らせず進めたのか。

答 議会へ報告するべき事項は地方自治法や条例に定められているが、本件はそれに該当しないと考えたためである。

問 市有地を民間に無料で貸し、設計・建設・運営まで任せ、採算が取れたら市に返還では、高額な建設費の他に利益を得るため、高い利用料の設定や安全に問題のある安価な建設になるおそれがあるのではないか。

答 実績があり、高い信頼のある公益財団法人に依頼するため心配ないと考えた。

問 建設は地元業者に発注できなくなるのではないか。

答 全国的に駐輪場建設を手がけている業者が、入札において指名されることになる。

問 建設や運営に関して市は意見が言えるのか。その内容を協定書に盛り込めないか。

答 協定書に要望や意見を反映するよう努める。

問 無料から有料になると放置自転車が增え、市民に罰則

を課すことになる条例の制定や放置自転車の処理に余計な税金がかかるか。

答 放置自転車禁止区域の指定やシルバー人材センターによる巡視が新たに必要となる。



駐輪場

駅 前 駐 輪 場

JR行田駅前駐輪場
水路上の有料化
について

石井 直彦
(発言と行動する会)

問 交流促進等を目的とする本市のJR行田駅前広場周辺再整備基本計画において、現在無料で利用提供している駐輪場について市有地と水路上のすべてを有料化する。さらに20年間もの長期間、駐輪場の土地を業者に無償貸与する。駐輪場の必要性について疑問を感じているため今回も質問